

現代の社会 「企業と生活者を繋ぐ」

日時：2015年12月21日(月) 15:20～16:50

場所：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス

参加者：神戸学院大学生(文系学部の1・2年生が中心) 54名

関西支部会員のアース製薬(株)の大塚礼子さんが、講義を行いました。

教養科目「現代の社会」(全15回講座)の1講座で、「企業と生活者を繋ぐ」をテーマに、より良い消費生活を目指して企業の取り組みを紹介しました。

<講義内容>

1. 日本ヒーブ協議会について
2. 企業と生活者の関係の変化
3. 事例をヒーブ視点(複数の視点)で考察する
4. 生活力アップにむけて (ヒーブ資料より)
5. 日本ヒーブ協議会「お客様の声を活かした取り組み55事例」
改善事例紹介、お客様の声を活かすことの意義



☆いただいた感想のご紹介☆

- ・ 企業側の視点と、消費者側の視点では違うように見える、という話が一番印象に残りました。自分側だけではなく、多方面からの視点を持てるようになりたいと思います。
- ・ 企業も様々な工夫をして商品を出しているんだ、と思いました。
- ・ 生活者も色々な人がいるので、生活者と企業のギャップを完全になくすというのは難しいと思うが、企業が全てこと細かく表示するのではなく、生活者も基本的なことは自分で理解しておかなければいけないと思いました。